

2025年3月10日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ  
代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン  
(コード番号 6740 東証プライム)  
問合せ先 執行役員 CFO 平林 健  
(TEL. 03-6732-8100)

### 温室効果ガス（GHG）排出量の第三者保証を取得

当社は、2023年度 GHG 排出量について、データ信頼性向上を目的とした第三者保証を取得しましたのでお知らせいたします。これは、当社として初めての取組みであり、GHG 排出量の正確性と透明性を一層高めることを目指しています。

この度の GHG 排出量データ検証において、信頼性の高い検証機関であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社から国際的な基準である「JIS Q 14064-3:2023 (ISO14064-3:2019)」に準拠した第三者検証を受審し、保証報告書を取得いたしました。これにより、ステークホルダーの皆さまに対し、より信頼性・透明性の高いデータを提供することが可能となりました。

当社は、「気候変動への対応」を経営上の重要課題（マテリアリティ）の一つに位置づけ、事業活動から発生するCO<sub>2</sub>排出削減や再生可能エネルギー導入などに取り組んでおります。また、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001:2015」認証の取得や、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づく情報開示も実施し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しております。

今後も第三者検証を有効に活用し、GHG 排出量のさらなる削減と信頼性向上に向けた取組みを推進してまいります。また、ステークホルダーの皆さまからのご意見やご要望にも耳を傾け、より良い企業活動を展開してまいります。

#### <検証概要>

1. 検証対象期間 2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）
2. 検証範囲<sup>(注)</sup> スコープ1、スコープ2（ロケーション基準、マーケット基準）  
スコープ3（カテゴリー：1,2,3,4,5,6,7,9,10,11,12）
3. 対象事業所 国内外の全事業拠点（国内7拠点、海外子会社8社）

(注) スコープ1：直接排出（都市ガス、LPG、軽油、灯油、非エネルギー系温室効果ガスなど）

スコープ2：間接排出（購入した電気）

スコープ3：サプライチェーンでの排出（購入した物品・サービス、輸送・流通、販売した製品の使用など）

【検証報告書】（リンク）[第三者検証報告書（PDF）](#)